

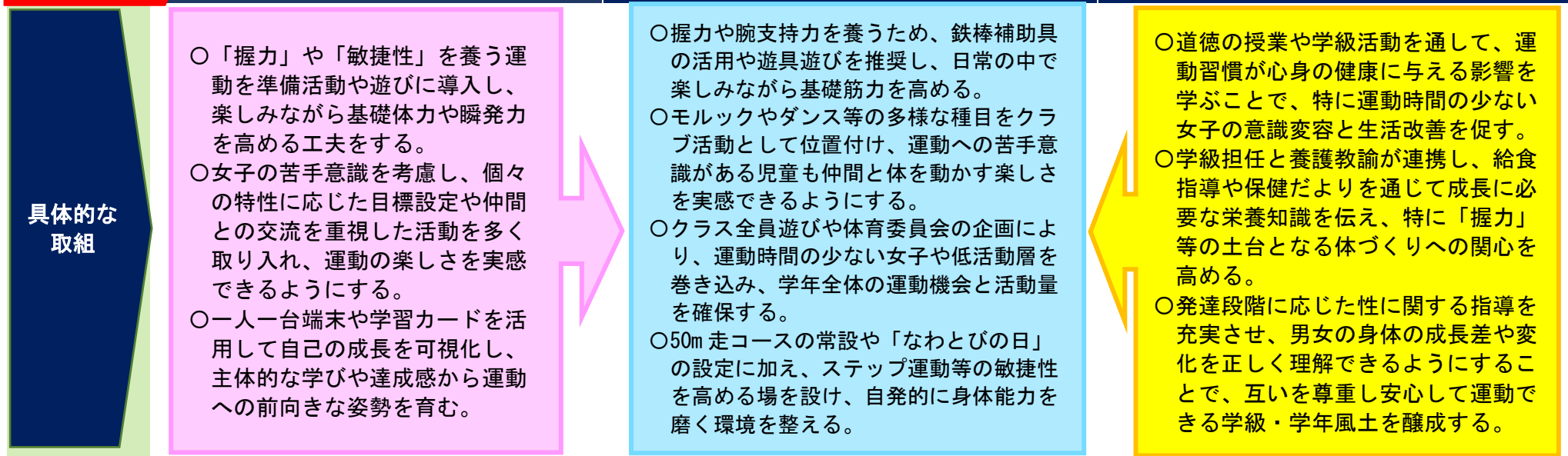
令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：25017

学校名：福住小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○札幌市の平均値と同程度もしくは上回った種目 上体起こし、長座体前屈、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ	○札幌市の平均値より下回った種目 握力、反復横跳び、20m シャトルラン	○全体的な傾向として、「瞬発力」や「柔軟性」には優れているが、「筋力(静的)」や「巧緻性(すばしっこさ)」、「持久力」に課題がある。
体力・運動能力 <女子>	○札幌市の平均値と同程度もしくは上回った種目 上体起こし、長座体前屈、20m シャトルラン、50m 走、ソフトボール投げ	○札幌市の平均値より下回った種目 握力、反復横跳び、立ち幅跳び、	○「柔軟性」と「持久力」が高く、粘り強い運動が得意な反面、一瞬で地面を蹴る「跳躍力」や「握力」の不足が課題である。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	○「体育の授業は楽しい」と回答する子どもの割合は、男子 80.4%、女子 49.0%であり、札幌市の平均値と比べると、男子は大きく上回り、女子は大きく下回っている。	○1週間の総運動時間が60分未満の子どもの割合は、男子 1.9%、女子 12.8%となっている。女子は総運動時間が420分以上の子どもの割合も 21.3%と札幌市の平均値を大きく下回っている。	○男子は運動や体育の授業を楽しんでいる傾向がみられるが、女子は意欲・習慣ともに低迷している。特に女子の運動への苦手意識を減らし、日常的に体を動かす機会を増やすことや日常授業実践の改善が必要である。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
--------------	------------------------	------------------------------	----------------------------



家庭・地域との連携・協働

- ゲストティーチャーを招き、子どもの実態を踏まえた指導の充実と本物を体験する機会をつくる。
- 学校独自の児童アンケートや保護者アンケート等を活用する。
- 学校評価を通じた取組の評価・改善を行い、福住小こひつじネット等との協働を図る。